



# 向上無限

生徒一人ひとりの可能性は∞無限大



学校便り  
校長 仲盛康治  
『心一つに』  
『誰かの笑顔のために』  
『明日が待ち遠しい学会』

地区中体連夏季総体がありました。コロナ禍3年目を迎え、創意工夫した取組での開催。県大会の出場権を得た生徒、悔し涙を流した生徒それぞれありました。「努力しても報われなかった」と嘆くこともあるかもしれませんが、努力したひとにしか与えられない粘り強さや打たれ強さが身につく、必ず花が咲くというおみやげがついてきます。



このポスターは、報道委員会作成のもので、様々なスポーツをしているデザインに重なるように文字が後ろに入っていますね。「歓喜の歌よ こだましろ！」このフレーズには意味があるのです。那覇地区中体連とは、那覇地区中学校体育連盟の略称。那覇地区中体連の誕生は、1958年ですが、それまでは、教職員組合主催や新聞社主催の各競技ごとの大会が開催されていました。今とは違って2、3種目にまたがって同じ人が試合に出場したりしていたようです。1958年12月20日 那覇地区中学校体育連盟が誕生。そしてなんと2000年2月26日に那覇地区中体連歌制定

- 作詞 仲間 一さん、作曲 仲間 網雄さん  
1番の歌詞に何かヒントがありませんか？

- 1 明けゆく島に若人の 歓喜の歌が こだまする  
なびく誉れの連盟旗 守礼の邦に 薫る風  
おお我ら我ら中学生 誇りは高し 中体連
- 2 ファイト漲る ユニフォーム フレンドシップ いや深く  
フェアプレーに湧く涙 守礼の邦に 華と咲け  
おお我ら我ら中学生 誓いも固し 中体連
- 3 栄光めざし 鍛えぬく 見よ鉄の この腕  
大地を蹴って 駆ける脚 守礼の邦に 昇る太陽(ていだ)  
おお我ら我ら中学生 使命輝く 中体連



中体連ロゴには、3つのFがモチーフ  
・フレンドシップ ・ファイティングスピリッツ・フェアプレイの意味があるのです。

## ブラナカモリ

「ブラタモリ」タモリさんがブラブラ歩きながらその街の歴史や暮らし出来事やいろいろな所に残された痕跡から、その地域の魅力や歴史・文化などを再発見する番組。

「ブラナカモリ」は、城北中の謎を解き明かせ！のもと校長の仲盛が城北中の生徒や教職員、保護者や卒業生、地域関係者の協力を得て創立50周年を迎える本校の歴史やエピソードを探っていくプロジェクト！

城北中学校の校門近くに、白いシーサーがいるのは知っていますか？

アルバムを見ると2006年のアルバムから登場します。2005年までのアルバムには出てきません。また、シーサーは2頭いるのが普通ですが、城北中のシーサーは1頭です。もう1頭はどこにいたのでしょうか？ちなみに2005年は、新校舎新築中でした。ヒントは石嶺団地自治会近くの石嶺幼児遊園！

